

令和4年度 数学 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
Y数学Ⅱ	数学Ⅱ	3	A B	3	必修選択	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・演習等
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ, 数研出版
使用教材等	ニューパワーオン数学Ⅰ+A+Ⅱ+B[数列・ベクトル], 東京書籍 解法イメージトレーニングランダム演習 数学Ⅰ+A-応用編, 数研出版 リンク数学演習Ⅰ・A, 数研出版

科目の目標・内容等

学習目標	数学Ⅰ・数学Aを中心とした内容の復習を行うとともに技能の習熟を図り、大学入試(看護系)に対応できる力を培う。
学習における留意点	数学Ⅰ・数学Aの基本的内容を理解している。
予習・復習	予習を前提とした問題演習を行う。
評価方法	定期考査・問題演習・課題等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	数学Ⅰ・数学A 1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数 4 図形と計量 5 データの分析 6 場合の数と確率 7 図形の性質 8 整数の性質	数学Ⅰ・数学Aについて、内容を復習し理解する。ランダムに出題された基本問題の演習を通して、技能の習熟を図る。	数学Ⅰ・数学Aについて理解し、また問題演習を通して、技能の習熟を図ろうとする意欲。
2	数学Ⅰ・数学A ・総合問題	数学Ⅰ・数学Aについて、内容を復習し理解する。入試レベルの問題演習を通して、技能の習熟を図る。	数学Ⅰ・数学Aについて理解し、また問題演習を通して、技能の習熟を図ろうとする意欲。
3	数学Ⅰ・数学A ・総合問題	数学Ⅰ・数学Aについて、入試レベルの問題演習を通して、技能の習熟を図る。	数学Ⅰ・数学Aについて理解し、また問題演習を通して、技能の習熟を図ろうとする意欲。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。